

外 号



豊高百周年記念事業は、コロナ禍の中で一部事業は変更を余儀なくされましたが、計画した事業はほぼ終了しました。「建学の強い思いの籠ったバトン」は、次の世代に引き継ぐことができたと思っています。

校長先生はじめ関係職員の皆様、PTA・後援会並びに同窓会から選出された記念事業実行委員会委員の皆様の献身的活動と、本事業の成功に向けてご尽力いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。

私はこの記念事業の終了を機に同窓会長を退任し、後任として入間市教育長も勤められた高十七回卒業生の村野志朗氏に就任いただきました。長い間ご指導、ご協力いただいた学校ご当局、同窓生の皆様にご厚くお礼申し上げます。



それでは、豊岡高校の更なる発展を祈念すると共に、村野新体制の門出を心から祝福してお礼の言葉いたします。

記念事業を終えて

県立豊岡高等学校

(前)同窓会長

木下 博

式典次第

- 一 開式のことば
- 二 国歌斉唱
- 三 校長式辞
- 四 創立百周年記念事業
実行委員長あいさつ
- 五 埼玉県教育委員会のことば
- 六 来賓祝辞
- 七 来賓紹介
- 八 生徒代表のことば
- 九 校歌斉唱
- 十 閉式のことば



入間市長
杉島理一郎様



埼玉県議会議員
齊藤正明様



埼玉県知事
大野元裕様



生徒会長
平尾結愛



校長
内田正敏

来賓紹介 (敬称略)

埼玉県知事

大野元裕

埼玉県教育委員会教育長

高田直芳

埼玉県議会議員

齊藤正明

入間市長

杉島理一郎

入間市教育委員会教育長

中田一平

入間市議会議員

紺野博哉

埼玉県高等学校校長協会会長

坂上 節

埼玉県高等学校校長協会副会長

桑原 浩

入間市立豊岡中学校長

北野 晃

学校評議委員、歴代校長、歴代PTA会長、記念事業協力者他、来賓の皆様をお迎えいたしました。

在校生は、各教室で記念式典及び記念講演会を視聴しました。

記念講演会

演題

「液晶の物性解明と高性能液晶ディスプレイの研究」

講師

小林駿介 東京農工大学名誉教授

豊岡実業高等学校

(昭和26年3月卒)

物理学者

令和3年3月日本学士院賞受賞

小林駿介先生は、東北大学名

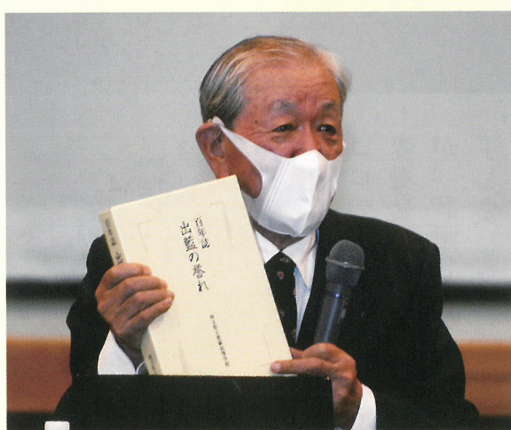
誉教授の内田龍男氏と連携して

液晶の基礎物性の解析、液晶分

子の配向制御や光学理論に基づ

く高性能な液晶ディスプレイの

研究開発とその工業化に貢献さ



れました。特に無欠陥高品質の液晶ディスプレイの基盤を確立すると共に、液晶に関する多数の著書を出版するなどして若い研究者や技術者を育ててきました。この重要な基本技術は、高性能・高品質の液晶ディスプレイの基盤となり、日本を中心として多くの研究者による研究、実用化開発が推進されて本格的な産業化が始まり、2000年前後に日本が液晶王国となる礎を築かれました。